2020 空調冷熱 新潟特集

ナンバ フロンキーパーが好調―環境大臣賞も受賞 HACCPコンサルを事業に追加

独自開発のフロン漏えい検知システム・FronKeeper（フロンキーパー）を展開するナンバ（社長＝難波俊輔氏、本社・新潟県長岡市三島新保633―1）は今回の新型コロナウイルスに対する感染防止対策への手立てが早かった。

難波　昇一会長

難波　俊輔社長

既に3月5日には1回目となるリモートを開始し、一部間接部門では完全在宅勤務、営業部門や施工管理部門等において、出社せず自宅から現場・客先へ直接向かい、見積もり等の事務仕事においては在宅によるテレワークを実施した。これについては既に外部からのアクセスを確立させており、データの閲覧や外出先での待機時間等に仕事が出来る体制を整えていたため、スムーズな対応ができた。

第2回目は全国への緊急事態宣言の発出となった4月16日以降から5月末まで実施。営業部門においては顧客訪問が難しくなっていたことで訪問の必要がある場合を除いてリモート営業へと切り替えた。社内サーバーへのアクセス環境など随時手を入れブラッシュアップを図った。

但し現場を伴うメンテナンス並びに工事部門については社内での接触感染等を避けるため、直行直帰の態勢を敷いた。現状は密を避ける行動を取りつつ、徐々に平時の状態に戻しつつあるが、依然として遠隔地等への乗り入れについては厳しく言及しているという。

今回のリモート実施による新常態に対しては社内アンケートも行った。結果は想定外のもので8割方が、十分なリスク回避が出来たことへ良の評価を示したという。また仮に自社においてコロナ感染者が出た場合のシミュレーションも行い、非常時への備えを構築した。今後については、在宅勤務を常態化とはしないが、タブレットや通信機器の配布、社内通信設備の充実を図り、更なる業務の効率化を推進していく構え。

さてコロナ禍がもたらした事業に対する影響について難波俊輔社長は「HVAC展やFOOMAといった直接、ユーザーに訴えかけられる展示会が相次いで中止となったことでフロンキーパーなどの訴求に影響が出るかと危惧はしたが、幸いにもこれまでの刷り込み効果もあり、フロンキーパーについては順調に設置台数を伸ばしている。首都圏を含む、県内外の大手スーパーでは既に400台弱が設置稼働状況にある。また基幹事業でもある店舗冷設関係も自粛、巣籠り需要等を背景に県内スーパーなどの売上が好調であり、これに伴う入替え、改修店舗などの改装や新店などは中止、先送りといった状況が発生し頓挫した」とし概ね予測値よりも減少幅は薄かったものとした。

同社においては昨年、NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の採択案件でフロンキーパーを使用したマレーシア・マラッカ州4施設における調査事業を行ったことがひとつのステータスとなり、先頃、日刊工業新聞が主催する第23回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞において環境大臣賞を受賞した。第12回の同賞「優秀賞」に次いで2度目の受賞となったほか、本年は一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会（通称＝日設連）が主催し、一般財団法人省エネルギーセンターが協力する第37回優良省エネルギー設備顕彰の運転・保守管理部門で優秀賞を受賞、これについては既に3度目となる。こうした露出効果がフロンキーパーの存在感を引き上げていることは言うまでもないだろう。

第23回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞の贈賞式での記念撮影（右が難波社長・左は環境省の小野洋地球環境局長）

新冷工業は3割増益 技術サポートで女性が活躍・根幹連携を

さて後半戦に向けての取組みとしては「厳しい環境であることは否めない」（難波社長）としながらも、小規模事業者向けなどの設備更新に対して補助金を活用した提案活動を強化するという。

一方、新たに事業として取組みを開始するものが「HACCPコンサルタント™」事業だ。ナンバでは一般社団法人HACCP国際基準認証協会（以下＝HACCP協）の認証を受け、6月1日より同事業を開始した。食品衛生法が本年6月より改正され、HACCPによる衛生管理が義務化されたことを受け、全ての食品関連事業者約120万社が対象となるが、対象となる企業、店舗に業務提携を行いグループ化した。この1年での相乗効果については「コロナ禍において当社よりも新冷工業の伸びしろが高かったといえ、約3割程度の増益となっている」（難波社長）とし、背景としてはグループ化以降、積極的な業務連携で重複する拠点の統合や双方での受発注体系などでコストダウンを実現させ利益体質の企業へと踏み出したこと、先の自粛等に伴う取引先ユーザーの活性が挙げられる。

改善を促したものについては、例えばナンバからは工事部長を新冷工業へ出向させ、工事部施工管理課を新たに設置したほか、さらに新冷工業において長年、勤務し業務を熟知していた女性社員を昇格と技術サポート課課員に据え、業務と施工管理の橋渡し役を担わせるなど活躍の場を提供したことで、これまで以上にスピード感を持った連動が生まれている。また、今年末にはナンバの新潟営業所を新冷工業社屋の3階へ移設し、更なる深化を図る計画。

また両社間のさらなる一体感と今後のリクルート効果を意識し、今秋にはユニフォームも一新。ジャケットはシルバーグレー、パンツはシルバーグレーとブラックの自由選択制でレディースサイズもある。従来に比べ、スリム感とスタイリッシュさわやかなイメージに社内評価も上々だ。

同社TVCMでのフロンキーパー稼働模様